

## 大町校区 タウンミーティング開催報告

<p>【日 時】令和6年2月7日（水）19：00～20：30</p> <p>【場 所】大町公民館</p> <p>【参加者】地域：10人（大町連合自治会長など） 市：3人（市長、市民生活部長、大町公民館長） 傍聴：2人</p> <p>【テーマ】地域活動の活性化</p>	
概 要	
地域づくり	
参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>「大町地域づくり協議会」を立ち上げたものの、コロナ禍の影響で地域活動が縮小し、活動を維持することが難しくなってきた。</p> <p>コロナ禍後、連合自治会が実施していた「とうどまつり」と、梅林園（市民の森）で開催していた市主催の「梅まつり」を協議会が引き継ぐ計画だったが、梅まつりについては、これまでと同規模での開催は困難であることから、協議の結果、梅の木の整備事業を継続して実施していくことに決定した。</p> <p>いずれの事業も地域の人からの寄付を受けて実施しているため、事業としてそれほど大々的にはできない。</p> <p>ただ、これまでどおりの規模で開催すると思っている人もいますので、市にも援助してもらい継続できればと思う。</p>	<p>地域づくりは、「地域の団体役員さんの負担を軽くしたい」目的で始まっている。みんなで話し合うことで共感が生まれ、共創につながっていくと思う。</p> <p>「とうどまつり」や「梅まつり」について、「大町地域づくり協議会」の単独開催では負担が大きくなるように思うので、やり方を検討する必要があるかもしれない。</p> <p>必要に応じて変えていくことが大切である。</p>
<p>大町校区は、住みやすいと思っている人が多く、現状、連合自治会が実施する行事の方が動きやすい。</p> <p>大町校区が先行して地域自治組織を設立したものの、今後どのように進めていけばいいのか悩んでいる。</p>	<p>行事をどのように実施するかという内容であれば自治組織に所属する全ての団体が集まる必要はないかもしれない。</p> <p>しかし、校区内に課題がある時は、その解決に向けて22団体が集まり、話し合いをすることで「地域づくり」が始まっていくのではないだろうか。</p> <p>地域の実情は異なるだろうが、各団体の役員が固定化・高齢化し、人手が足りなくなるという声をよく聞く。</p>
<p>いずれ困る状況になることをわかっているのは、校区の人口約1万人のうち、自治会役員の一部で、他の人にはあまり情報が伝わっていない。</p> <p>大町校区全体に情報を共有したいができず、ジレンマを感じている。</p>	<p>地域の課題を広く薄くみんなに共有することで、コミュニティが回っていけばよいと思うが、千人規模と1万人規模では情報の伝わり方が異なると思う。</p> <p>だからこそ、こまめな情報共有が大事である。</p>
<p>若い世代の方にも参加してもらえるように、地域づくりをする前に人づくりをしなければならぬと思う。</p>	<p>若い人を呼び込むためには、何らかのしっかりしたテーマが必要だろう。</p> <p>共通課題についてみんなで意見を出し合うことができれば、前に進んでいくのではないだろうか。</p> <p>今年度、他の地域でも地域自治組織が設立されているが、現状や基本目標、期限を設定したアプローチ方法等、コンセプトをしっかりと作り上げているという感じを受けている。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>協議会やコミュニティ・スクールの会で同様の顔ぶれが揃うが、「振り返る」ことがあまりなかったように思う。</p> <p>地域づくりやコミュニティ・スクールで「目指す姿」が想像しづらい部分もあったが、市長の「テーマを掲げて、各団体がそれぞれの立場で考えていく」という話がすごくわかりやすいと思った。</p>	<p>活動を振り返り、できることとできないことを確認してみるのもいいと思う。</p> <p>ブラッシュアップしていくことは大事だと思う。</p>
<p>地域行事については、行事の目的や文化を教えるのがPTAや学校、家庭の役目だと思っている。</p> <p>しかし、伝達手段や情報がないので、わかりやすくまとめた冊子などを作ってほしい。</p>	<p>多くの人を巻き込んでいくことが大切である。</p> <p>コミュニティ・スクールを進める中で、地域の人の得意分野や事柄をリスト化して、伝統や習わしを伝えていくようなことができればいいと思う。</p> <p>みんなで少しずつ分担して、無理のない範囲でやってほしい。</p>
<b>補助金の使途</b>	
<p>活動経費の中で、補助対象外であると指摘を受けるものがあり、活動の難しさを感じている。</p> <p>さらに、補助金だけでは事業継続が難しいので地域のボランティアに頼っている部分がある。昔は「地域貢献」という想いのもとに協力してもらっていたが、考え方も変わってきている現状で、活動が継続できるかどうか心配である。</p>	<p>補助金や交付金の「使い勝手の良さ」については検討しなければならない。</p> <p>また、有償ボランティアという考え方があっていいと思っており、現在検討中である。</p>
<p>地域づくり組織が営利活動をしてよいという話を聞いた。一方で、収益を得る場合は、組織をNPO法人化する必要があると言われた。</p> <p>自治組織の活動の一環として、市の補助金を活用して材料を買い、作った物で販売収益を得ても問題ないのだろうか。</p>	<p>交付金について「何の制限もなく使える」というのは難しいので、基準を設ける方針で考えているので、少しお時間をいただきたい。</p> <p>【後日回答】</p> <p>収益事業を認める方向で交付金の要綱を改正する予定である。</p>
<b>その他</b>	
<b>ごみ収集</b>	
<p>転入者の方からごみ収集に関する問い合わせがよくある。転入手続きの際、市ではどのように説明しているのか。</p> <p>併せて、自治会への加入も促してほしい。</p>	<p>転入者にはごみ分別ガイドブックを配布しており、ごみ収集については、利用したいごみステーションの管理者の許可を得るよう案内している。</p> <p>自治会加入についても、転入手続き時や宅建協会に所属する事業所の店舗でリーフレットやパンフレットを配布している。</p>
<p>小学生の時から資源リサイクルや環境教育が必要だと思うが、市での取り組みを教えてください。</p> <p>また、市民がもっと身近にできるように、公民館だけでなく集会所などでも資源ごみの拠点回収を行ってほしい。</p>	<p>環境教育については、市職員による出前講座や民間企業による講座を実施している。</p> <p>子どもの時からしっかり学んでいけば、分別もできるようになる。</p> <p>資源ごみの拠点回収は、現在、市庁舎と公民館合わせて計28カ所を実施している。一定の利用はあるものの、回収量がそれほど多いわけではないので、これまでどおりの形でやっていきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<b>御旅所の公衆トイレ</b>	
<p>御旅所の公衆トイレが撤去されて困っている。広場を利用している人は多いので、再設置を希望する。</p>	<p>当時、忠霊塔の管理をしていた遺族会からの要望により、敷地内に公衆トイレを設置した経緯がある。          しかし、シロアリ被害を確認し、西条まつりの時以外の利用がそれほど多くない状況であることから、内部で検討した結果、撤去した。          ただ、西条まつりの時には仮設トイレを増設している。</p>
<b>地蔵原地区道路の渋滞</b>	
<p>地蔵原地区の西条愛寿会病院前の道路が通勤時間帯に渋滞し、支障が出ている。          拡張工事もしくは時間帯の一方通行規制をしてほしい。</p>	<p>朝夕の通勤時間帯における一定期間の渋滞について認識しているが、県管理の河川が隣接していることや沿線の農地との高低差などがあることから、道路改良が困難な状況である。          ただし、通学路の安全対策として令和5年11月に、愛寿会病院の西側約260mに外側線を施行した。</p> <p>規制について「時間帯の一方通行」はなく、「時間帯進入禁止」の規制になると警察に確認している。          この場合、原則、地域住民のみ通行可能となり、区域内事業所がある場合は許可を得て通行できることになる。通勤時間帯の通り抜け車両が多い場合には有効であると考えるが、この地区では効果が薄い。          また、渋滞の原因の一つとして、国道11号との交差点に設置されている信号機の青信号の時間が短いことが考えられるが、国道進入路線であるため、時間延長は難しい。</p>

<開催の様子>

